

# 松くい虫被害に対する林業研究所の取組

林業研究所

マツ林に壊滅的被害を与えるマツ材線虫病（松くい虫）の被害が年々北上しています。青森県では平成27年以降、西津軽郡深浦町で被害が継続しており、平成30年には三戸郡南部町で県南地域初の被害が発生しました。被害防除対策の中で、林業研究所が行っている取組を紹介します。

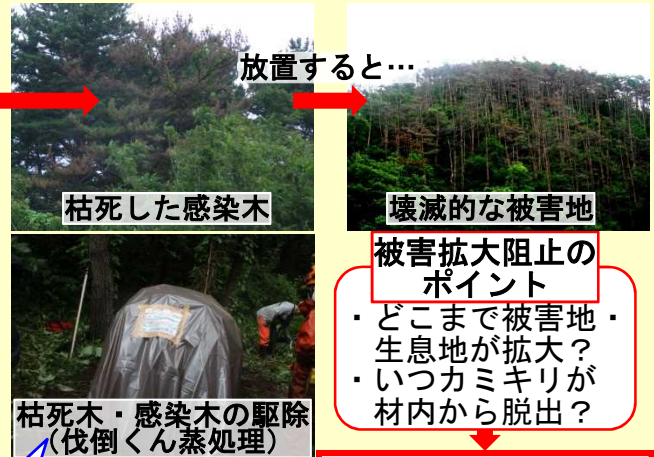
## 松くい虫被害の特徴

マツ材線虫病…病原体による**感染症**  
 病原体…マツノザイセンチュウ（**外来種**）  
 媒介者…マツノマダラカミキリ（**在来種**）



枝の皮を食べる・幹や枝に産卵する時に感染

カミキリ成虫が線虫をマツ材内に運んで感染

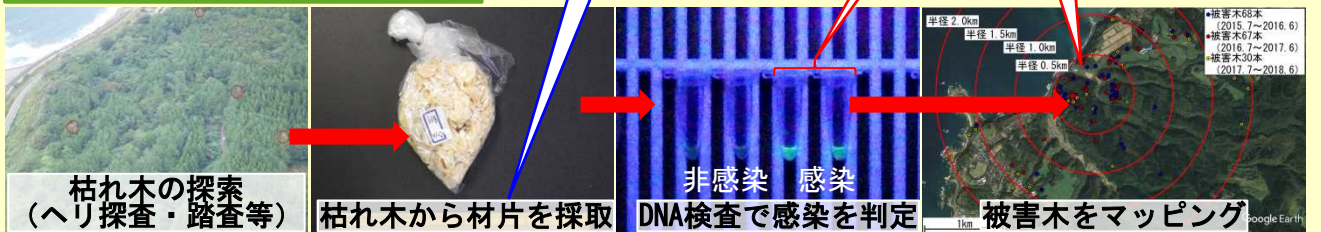


秋～翌初夏までカミキリは材内で成長  
 →材内にいる期間内のカミキリ駆除が必須

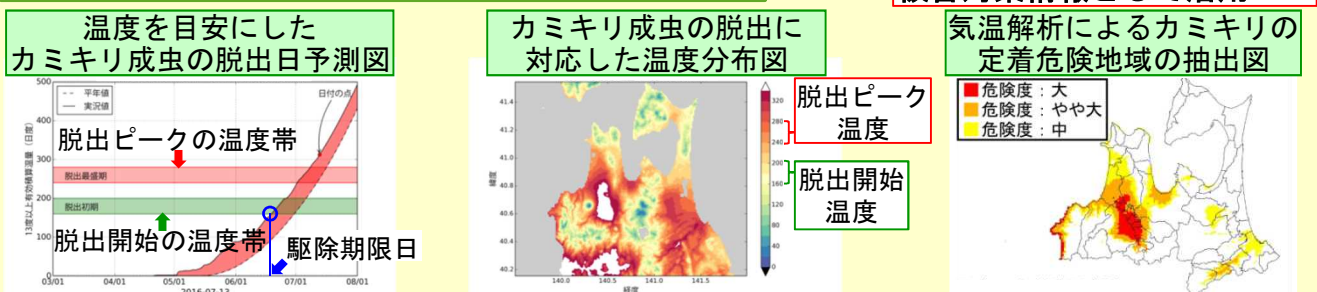
発生場所と駆除時期の的確な把握が最重要!!

## 林業研究所の取組

### ○ 被害確認と被害発生地の把握



### ○ 被害対策スケジュール・被害発生危険情報の提供



駆除期限の目安に活用

脱出状況をリアルタイムで可視化

被害探索地域の選択に利用

## 研究成果について

これらの成果を「マツ材線虫病（松くい虫被害）の監視・防除対策～対策の手引き～」として取りまとめました。林業研究所のホームページからダウンロードできますので、御活用ください。

## お問い合わせ

林業研究所 森林環境部 (Tel.017-755-3257)